

## 第7回佐治地域振興会議議事概要

日時：平成29年1月27日(金) 午後1時30分～午後3時30分

会場：佐治町総合支所 第1会議室

### 【出席委員】

上田喜清、井上洋美、井上明男、谷口由紀子、金田洋子、福安道則、杉本淑子、  
谷口勝男

以上8名（敬称略）

### 【欠席委員】

福安修、岡村裕司、栗谷幹雄、谷上雄亮 以上4名（敬称略）

### 【事務局】

小谷支所長、竹本副支所長兼地域振興課長、川西産業建設課長、徳永市民福祉  
課長

竹氏地域振興局次長、増田地域振興課長補佐、森山危機管理課長、富山情報政  
策課長

### 【日程】

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 題
  1. 地域内情報伝達設備の整備について
  2. 教育委員会分室の執務場所等の変更について
  3. 国道482号(別府工区)舗装工事について
  4. 市道南岸線改良事業進捗状況について
4. その他
5. 閉 会

## ◎議事概要

### 1. 地域内情報伝達設備の整備について

【事務局】資料により現在の防災行政無線と地域内情報伝達設備整備支援に対して説明

【委員】地域無線システム整備案は現行防災行政無線システムに近いと思う。

【委員】屋外広報は聞き取りにくく、内容が判らない。放送内容が伝わるようにしてほしい。

【事務局】屋外広報は気象条件等で聞き取りにくい場合が想定されます。設備設定に配慮するとともに、電話やネットで内容問合せ可能な体制を整備する予定です。

現在のアナログ設備は無線免許の関係などにより継続使用できません。現行設備を地域無線システムに改修転用は困難です。

【委員】一部助成の具体的内容を説明してほしい

【事務局】今日時点ではお示しできません。

【委員】豪雪地域では災害でケーブル破損の恐れがあり危険に感じる。佐治町全域がカバーできるシステム選択が必要。

【委員】行政情報を現行防災無線で入手している現状がある。行政情報が住民に届きにくくならない配慮が必要だ

【委員】防災無線設備デジタル化が現状プラスの運用なら良いが、現状運用が無くなるのは困る。

【委員】行政情報伝達手段としての行政無線設備を全く無くすことはおかしいのではないか。行政情報伝達設備を住民負担で整備運用することにも違和感がある。

【委員】デジタル化後には、防災情報は屋外広報、行政情報は屋内広報と振り分けされるのか

【委員】先般の大雪の際には公共交通不通等に関する臨時放送がされた。火事発生時の情報伝達など今後の対応はどうか

【事務局】新たな地域情報設備に防災情報を乗せることもできます。

新たなデジタル防災設備運用では緊急事態として自然災害、国民保護、避難、防犯、行方不明に関する広報のほか訓練、点検広報を予定している。現在対応実態を踏まえ運用検討対応します。

### 2. 教育委員会分室の執務場所等の変更について

【事務局】資料により説明

特になし

### 3. 国道 482 号(別府工区)舗装工事について

【事務局】資料により説明

特になし

### 4. 市道南岸線改良事業進捗状況について

【事務局】現況と見通しについて説明

特になし

## ◎その他

### 1月の大雪について

【委員】先般の大雪時、町内幹線国道 482 号は町内東部と西部で除雪状況がおおきく異なり、佐治支所から用瀬までの状況は大変だった。

【委員】市道区間の除雪は大変頑張っていたと感謝している

【委員】国道 482 号歩道除雪に実施区間のむらがあった。

【委員】バスや因美線など公共交通機関運行状況情報がとりにくかった

【委員】佐治のような豪雪地域では個人所有の小型除雪機や人力では先般の雪には対応できなかった。鳥取市貸与の小型除雪機が行政除雪で手が届かない部分の除雪や車道の拡幅除雪に大変有効で助かった。自治会毎に 1 台配備できるよう今後も頑張って要望を上げて頂きたい。

【事務局】今回の状況を踏まえ、国道除雪については歩道除雪も含め所轄する県へ要望していきます。